

●世界の主な地震

平成 28 年（2016 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

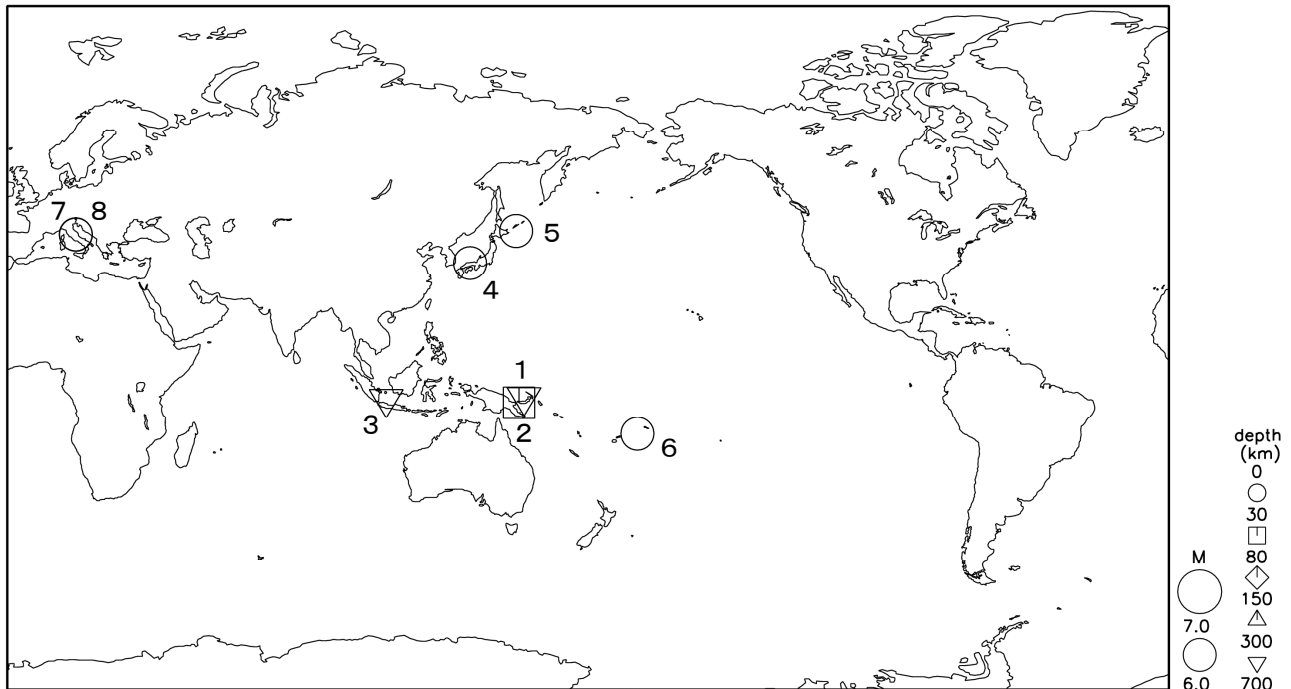


図 1 平成 28 年（2016 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- * : 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2016 年 11 月 2 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素は気象庁による。
- ** : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- *** : マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Mj（気象庁マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれかを用いて表示している。

表 1 平成 28 年（2016 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	15日17時03分	S04° 15. 7'	E150° 24. 4'	447			6. 4	パプアニューギニアニューブリテン付近			
2	17日15時14分	S06° 3. 2'	E148° 51. 7'	35			6. 9	パプアニューギニアニューブリテン付近		○	
3	19日09時26分	S04° 51. 8'	E108° 9. 8'	614			6. 6	ジャワ海			
4	21日14時07分	N35° 22. 8'	E133° 51. 3'	11		6. 6	(6. 2)	鳥取県中部		○	
5	24日05時25分	N43° 46. 0'	E147° 58. 0'	41*		6. 0	(5. 9)	北海道東方沖			
6	26日14時19分	S15° 32. 4'	W174° 52. 3'	10			6. 1	トンガ諸島			
7	27日04時18分	N42° 56. 1'	E013° 2. 6'	10			6. 1	イタリア中央部			
8	30日15時40分	N42° 51. 3'	E013° 5. 3'	10			(6. 6)	イタリア中央部			○

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2016 年 11 月 2 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- 地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

10月30日 イタリア中央部の地震

2016年10月30日15時40分(日本時間、以下同じ)にイタリア中央部(首都ローマの北東約160km)の深さ10kmでMw6.6の地震が発生した。この地震は、ユーラシアプレート内部で発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。

気象庁は、この地震に対して、30日16時20分に遠地地震に関する情報(日本国内向け、「この地震による津波の心配はありません。」)を発表した。

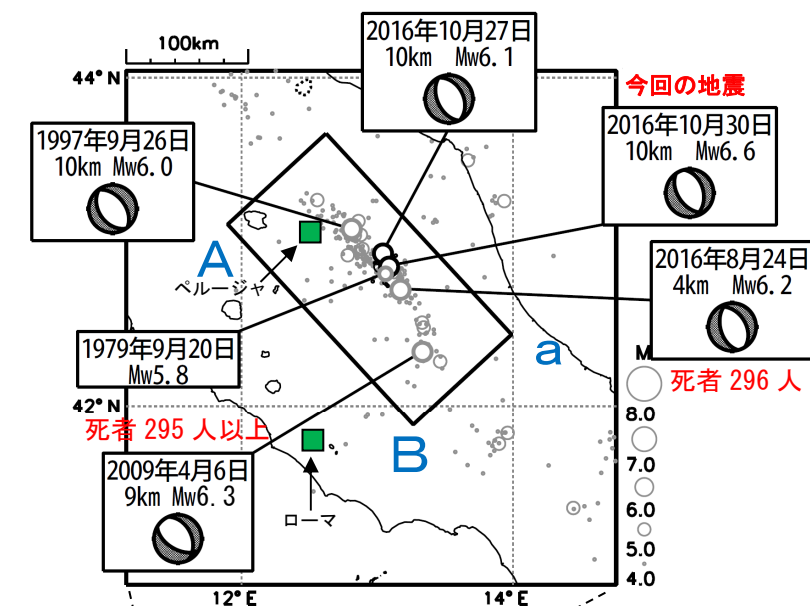
今回の地震の震源付近では、地震発生前の2016年8月24日にMw6.2の地震、10月27日にMw6.1の地震が発生していた。今回の地震は、8月24日の地震の震源の北西約20kmで発生した地震で、いずれの地震も局所的に東西方向に伸張する力が主に働くことによって発生している。

今回の地震で、少なくとも負傷者20人等の被害が生じた。

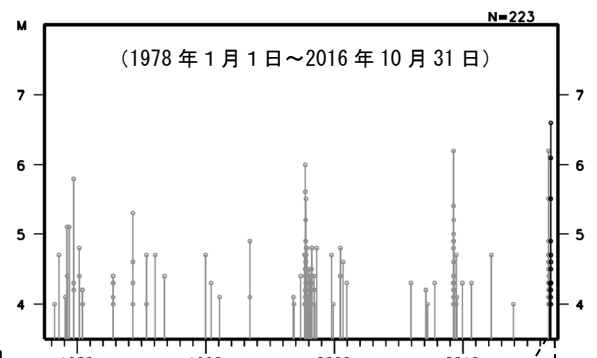
1978年以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M6程度の地震が時々発生しており、2009年4月6日の地震(Mw6.3)や2016年8月24日の地震(Mw6.2)では、いずれも300人近くの死者が生じている。

震央分布図

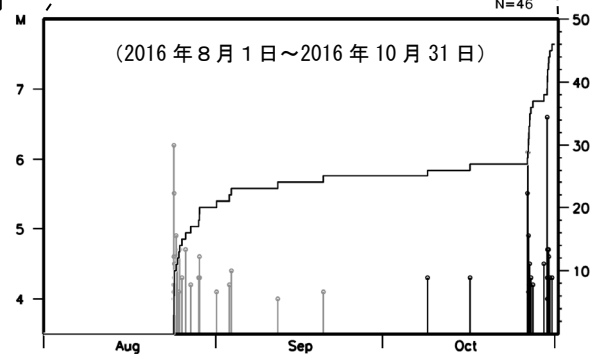
(1978年1月1日~2016年10月31日、
深さ0~100km、M $\geq$ 4.0)
2016年10月の地震を濃く表示



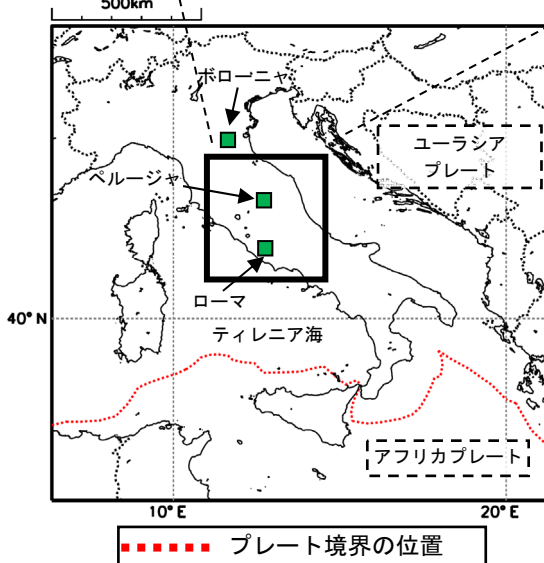
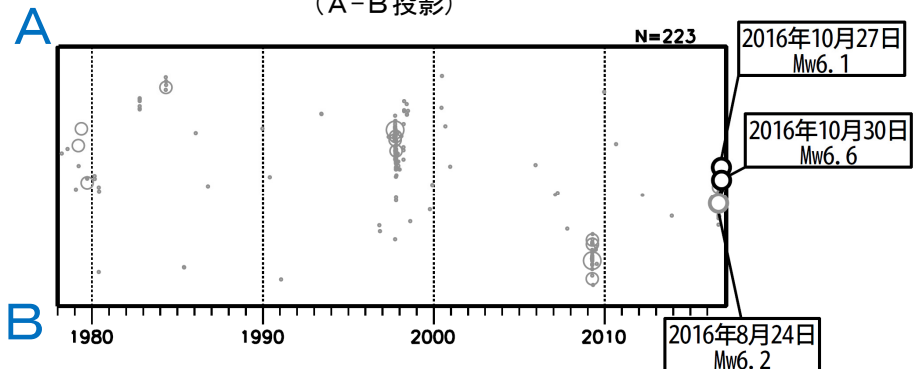
領域a内のM-T図



M-T図及び回数積算図



領域a内の時空間分布図
(A-B投影)



※本資料中、今回の地震のMwと発震機構は気象庁による。震源要素とそのほかの地震のMw及び2016年8月24日、2016年10月27日の発震機構はUSGSによる。そのほかの地震の発震機構はGlobal CMTによる。プレート境界の位置はBird (2003) *より引用。被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所) による(2016年10月31日現在)。また、2009年4月6日の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.